

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

透明度は2.2~2.9mでした。検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なシャットネラ属が最高で7cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で4,900cells/ml確認されました。カレニアについては一部で漁業被害が想定される濃度を越えていました。今後も慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
透明度	2.2	2.8	2.6	2.9	2.6
前回透明度	2.4	2.8	2.3	2.2	1.4

プランクトン(cells/ml)

		シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	珪藻類
中学校前	0m	0	3	14,000
	2m	6	0	6,400
	5m	0	1	600
目ノクソ	0m	0	0	15,800
	2m	6	27	3,100
	5m	1	0	500
光松	0m	0	79	620
	2m	7	126	2,900
	5m	0	0	300
大鹿	0m	0	23	10,200
	2m	4	37	1,800
	5m	0	4	350
水試小割前	0m	0	220	3,500
	2m	2	300	1,100
	5m	0	5	100
大崎	0m	1	2,900	
大崎(別)	0m	0	4,900	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・シャットネラ属: 10~100cells/ml(へい死)
- ・カレニア・ミキモトイ: 数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>